

令和2年度 肝炎情報センター主催 肝疾患診療連携拠点病院 肝疾患相談・支援センター向け研修会

2021年3月5日～3月15日(10日間) 情報C HP⇒PW⇒動画視聴

③今年度の研修会目的と各相談センターへのお願い

- アンケートのお願い
- 相談支援システム・コロナ禍の活動報告
- 研修会の歴史と今回の目的

R2年度肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会

テーマ：コロナ禍における拠点病院の活動報告

○プログラム

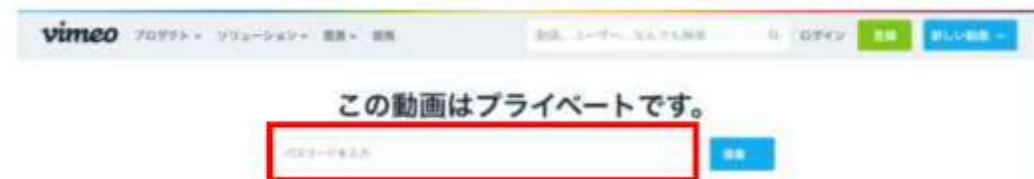
1. 挨拶 (5分)
国立研究開発法人国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター長 考藤 達哉
厚生労働省 健康局 がん・感染症課 肝炎対策推進室 室長補佐 大原 正嗣 / 竹内 泰江
2. 1) 肝炎総合対策について (各20分) 肝炎対策推進室 室長補佐 大原 正嗣 / 竹内 泰江
2) ウイルス肝炎治療の最新ガイドラインのUpdateを中心に 肝炎情報センター長 考藤 達哉
(1~2 動画1)
3. 今年度の研修会目的と各拠点センターへのお願い (10分) 肝炎情報センター室長 藤本 匡祐
4. 特別講演
行動実習を促す医療コミュニケーションの方法 (40分) 大阪大学人間科学研究所 准教授 平井 健
(3~4 動画2)
5. コロナ禍の活動報告1 (指定) 約10分 (各5分)
a. 肝疾患相談支援システム活動報告 富山県立中央病院 肝疾患相談室 看護師 古川市子
b. コロナ禍で行われた研修会と市民公開講座の取り組み 大分大学医学部附属病院肝疾患相談センター 看護師 藤田幸子
6. コロナ禍の活動報告2 (公募) 約30分 (各施設約3~4分)
a. リレー動画① (情報C⇨徳島県立中央⇨和歌山医科大学⇨香川県中央⇨岡山大学⇨情報C)
b. リレー動画② (情報C⇨徳島大学⇨山口大学⇨久米大学⇨佐賀大学⇨情報C)
(5~6 動画3)

受講予定者

60施設 200名 医師43名

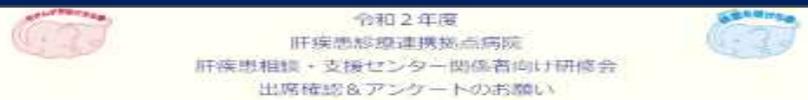
	参加施設数	参加人数	医師参加数
H28年度	58	114	2
H29年度	50	107	31
H30年度	54	109	26
R1年度	57	107	21

**2021年3月5日~3月15日24時まで
(10日間)**



① アンケート（7sec 16問）に回答のお願い

下記QRコードを利用してスマートフォンからでも可能



本日は令和2年度肝疾患相談・支援センター向け研修会への参加を賜りましたこと、誠にありがとうございます。誠に勝手ではございますが、アンケートへの回答をお願い申し上げます。アンケート回答によって本研修会の評価が向上いたします。ぜひQRコードより必ずご回答ください（名称、mail addressは匿名化されます。アンケート回答結果は関係者の非営利者を基に、研修センターからリマインドさせていただきます。また、双方同意を前提とするために、ご登録には同意が必要となります。ご登録ください。後日に回答いたします。

■お名前を入力してください。

姓 名 **氏名(入力)**

■所属を選択してください。

所属 (プルダウン)

■職種を選択してください。

職種 (プルダウン)

■上記で選択された職種の年数を入力してください。

年 月 日 **年数(入力)**
(1年以上の場合は0を入力してから月を選択してください)

▼ **視聴方法 (プルダウン)**

■設置機数を選択してください。

Mail address (プルダウン)

■メールアドレスを入力してください。

■個人情報保護方針

<http://www.nsgm.go.jp/privacy/index.html>

■個人情報に関するお問い合わせ

野の研修センター
アンケート担当 田中 麗子 氏
kanem@japan0.com



出席確認を兼ねていますので
必ず返信をお願いします

「次へ」押して登録



各講演へ質問・来年度開催方法についてもご意見を



令和2年度
肝疾患診療連携拠点病院
肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会
出席確認&アンケートのお願い



進行状況も

4) 講義・特別講演について率直なご感想を以下の中からお選び下さい。

5/16

a. 講義1 肝臓学会対策について (1つ選択)

- 大変参考になった
- 多少は参考になった
- どちらともいえない
- あまり参考にならなかった
- 全く参考にならなかった

発表に対するご質問

質問があれば記載を

6/16

b. 講義2 ウイルス肝炎治療の要点-ガイドラインのUpdateを中心に (1つ選択)

- 大変参考になった
- 多少は参考になった
- どちらともいえない
- あまり参考にならなかった
- 全く参考にならなかった

発表に対するご質問

質問があれば記載を

7/16

c. 特別講演 行跡要旨を促す医療コミュニケーションの方法 (1つ選択)

- 大変参考になった
- 多少は参考になった
- どちらともいえない
- あまり参考にならなかった
- 全く参考にならなかった

発表に対するご質問

質問があれば記載を



令和2年度
肝疾患診療連携拠点病院
肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会
出席確認&アンケートのお願い



6) 来年度の本研修会を2022年3月頃予定しており、ご意見をお聞かせください。

13/16

a. 開催方法についてお選びください (1つ選択)

- 今年度同様 (録画web配信)
- 状況を確認しつつできるだけ集合型で開催
- 現地集合型と録画web配信を選択
- Liveのみ (現地とweb選択)
- Live (現地とweb選択) + 終了後オンデマンド配信
- どちらともいえない
- その他

14/16

b. 通常開催ではテーマを決めてグループ討論、発表を行っていました。今後webを利用したグループワーク (1時間以内) を検討していますが以下についてお聞かせください (1つ選択)

- 参加したい/開催して欲しい
- webでは難しいと思う
- わからない
- その他

15/16

c. 医師の参加について (1つ選択)

- 必要なし
- 難しい
- 参加したい/してほしい
- 可能な限り参加したい/してほしい
- その他

確認画面で回答を確認し登録を⇒thanks画面/mail

- 10/16
- c. リレー動画(1) (福井済生会・和歌山・香川県立中央・岡山) (1つ選択)
- 多少は参考になった
発表に対するご質問
- 11/16
- d. リレー動画(2) (徳島・山口・久留米・佐賀) (1つ選択)
- 多少は参考になった
発表に対するご質問
- 12/16
- e. リレー動画を発表された8機関で最も参考になった施設を1つ選んでください。
- 福井済生会
- 6) 来年度の本研修会を2022年3月頃予定しており、ご意見をお聞かせください。
- 13/16
- a. 開催方法についてお選びください (1つ選択)
- 今年度同様 (録画web配信)
- 14/16
- b. 通常開催ではテーマを決めてグループ討論、発表を行っていましたが、今後webを利用したグループワーク (1時間以内) を検討していますが以下についてお聞かせください (1つ選択)
- 参加したい/開催して欲しい
- 15/16
- c. 医師の参加について (1つ選択)
- 必要なし
- 16/16
- 7) 今後、協議会等を企画、運営するにあたって、ご助言をいただければ幸いです。



令和2年度

肝疾患診療連携拠点病院

肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会
出席確認&アンケートのお願い



アンケートのご協力ありがとうございました。

尚、解析結果の一部は肝炎情報センターホームページ等で公表させていただく場合がございますし、今後の肝炎情報センター事業計画への参考資料にさせていただきます。



国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

肝炎情報センター

令和2年度肝疾患診療連携拠点病院 肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会アンケートへのご回答ありがとうございました



宛先: 是永 匡紹

是永 匡紹 様

この度は、令和2年度肝疾患診療連携拠点病院 肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会アンケートへのご回答ありがとうございました。アンケートの内容につきましては分析を行いまして、今後の肝炎・免疫研究センター事業計画への参考資料にさせていただきます。尚、解析結果の一部は肝炎情報センターホームページ等で公表させていただきます。予めご了承ください。

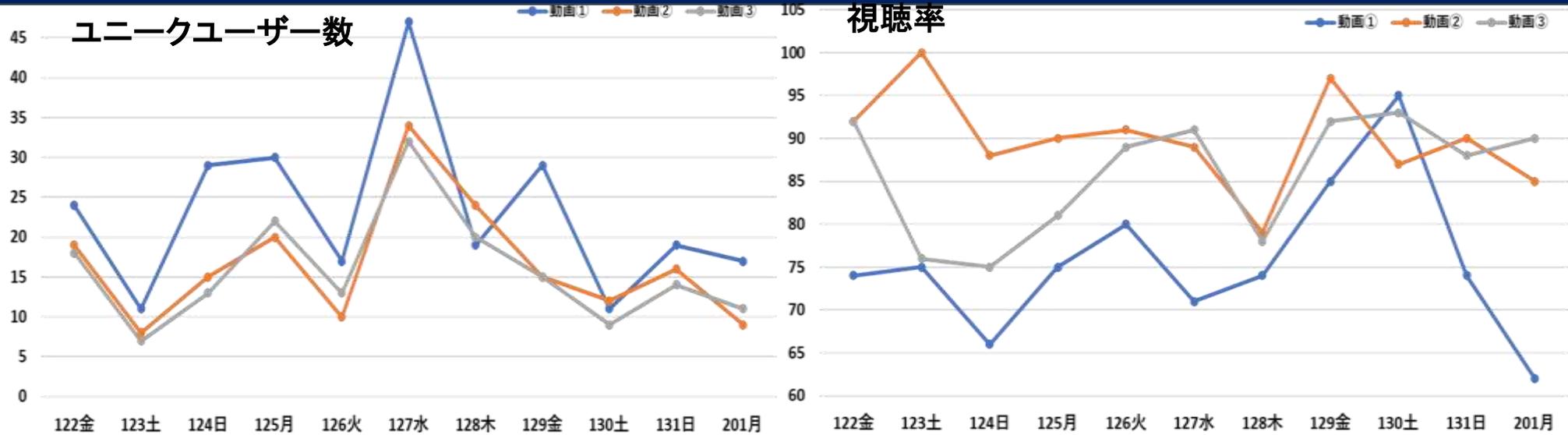
戻る

登録

」

②配信方法：Vimeo: PW併用 + アクセス + 視聴率

動画①は全員アクセスも全部視聴していない 動画②の視聴率↑



動画	222名参加	視聴数	ユニーク視聴者数	全編鑑賞	平均視聴率
令和2年度第2回都... 21 days ago アップロ...	299	217	166	74	
令和2年度第2回都... 21 days ago アップロ...	197	172	154	89	
令和2年度都道府県... 21 days ago アップロ...	193	159	135	86	

受講修了証をお送りしています⇒全視聴を目指しましょう

③肝疾患相談・支援センター向け研修会とは？

- 拠点病院医師向け研修会
- 看護師向け研修会
- 相談員向け研修会

年2回
年1回
年1回

肝炎情報センターHPで資料公開
(研修会アーカイブ)

看護師向け

日時	講義内容	講師氏名
9:00~ 9:30	受付	
9:30~ 9:40	開講式 オリエンテーション	肝炎、免疫研究センター長 溝上 豊史
9:40~ 9:45	国府台病院長挨拶	病院長 上村 直実
9:45~ 9:50	本省挨拶	厚生労働省健康局がん・疾病対策課 肝炎対策推進室
9:50~ 10:30	拠点病院事業の現状と課題	厚生労働省健康局がん・疾病対策課 肝炎対策推進室 ●発表資料(PDF)
10:30~ 10:40	休憩	
10:40~ 11:30	医療コミュニケーション ～舌滑対応でなぜスキルが使えないか～	奈良県立医科大学健康政策医学講座 講師 岡本 左和子 ●発表資料(PDF)
11:30~ 12:10	肝硬変・脂肪肝患者に対する 栄養療法の現状と課題	独立行政法人国立病院機構 前崎総合医療センター 統括診療部 栄養管理室長 吉田 雅
12:10~ 13:00	昼食	
13:00~ 13:35	講義① 肝疾患相談における看護師の新しい役割	岡山大学病院 新医療研究開発センター 難波 志穂子 ●発表資料(PDF)
13:35~ 14:10	講義② 肝臓病教室立ち上げまでの過程と 看護師の役割	大阪市立大学医学部附属病院 松崎 聖美 ●発表資料(PDF)
14:10~ 14:45	講義③ 難治性腹水患者の患者指導	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター 寺尾 敦 ●発表資料(PDF)
14:45~ 15:05	休憩 (グループワークに備え机の並べ替え)	

日時	講義内容	講師氏名
14:45~ 15:05	休憩 (グループワークに備え机の並べ替え)	
15:05~ 15:40	講義④ 肝疾患患者が感じる偏見・差別と 医療者側とのギャップ	特定非営利活動法人 東京肝臓友の会 事務局長 米澤 敦子 ●発表資料(PDF)
15:40~ 17:00	グループワーク	
8:30~ 9:00	受付	
9:00~ 9:15	記念写真撮影	
9:15~ 12:00	グループワーク	
12:00~ 13:00	昼食	
13:00~ 15:00	発表 各10分 質疑応答	
15:00~ 16:00	閉講式 修了証授与	

研修会で学んだことが
拠点病院持ち帰って反映されているか
持ち帰って使用できる内容に

相談員向け

日時	講義内容	講師氏名
12:30~ 13:00	受付	
13:00~ 13:05	開会の挨拶	肝炎、免疫研究センター長 溝上 豊史
13:05~ 13:10	本省挨拶	厚生労働省健康局がん・疾病対策課 肝炎対策推進室
13:10~ 13:40	我が国の肝炎対策について	厚生労働省健康局がん・疾病対策課 肝炎対策推進室 ●発表資料(PDF)
13:40~ 14:10	4国肝炎経口薬耐性性の考え方	肝炎、免疫研究センター長 溝上 豊史
14:10~ 14:25	地域ブロック単位で考えることの意義	肝炎情報センター長 正井 尚郎 ●発表資料(PDF)
14:25~ 14:30	グループワーク準備 (休憩)	
14:30~ 16:00	グループワーク	
16:00~ 17:00	全体発表 各グループごと 8分	
8:30~ 9:00	受付	
9:00~ 9:15	記念写真撮影	
9:15~ 12:00	グループワーク	
12:00~ 13:00	昼食	
13:00~ 15:00	発表 各グループごと10分 質疑応答	
14:10~ 15:00	総会討議	
15:00~ 15:30	閉講式	

国立研究開発法人国立国際医療研究センター
肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター主催

平成28年度 肝疾患診療連携拠点病院 看護師・相談員向け研修会

日 時：平成29年3月3日（金）13：00～17：00
平成29年3月4日（土）10：00～15：30

場 所：山崎製パン株式会社 総合クリエーションセンター 1階 セミナールーム
〒272-8581 千葉県市川市市川3-23-27 TEL:047-329-3110

対 象：都道府県肝疾患診療連携拠点病院に勤務する看護師、相談員、事務員、医師等
実際に相談員業務をされている方以外でも、興味のある方の参加も構いません

テーマ：院内における看護師と相談員とのコミュニケーション（院内連携）の向上を図る
～院内肝炎医療コーディネーター育成・活用を目指して～

参加予定人数: 115名 医師2名参加

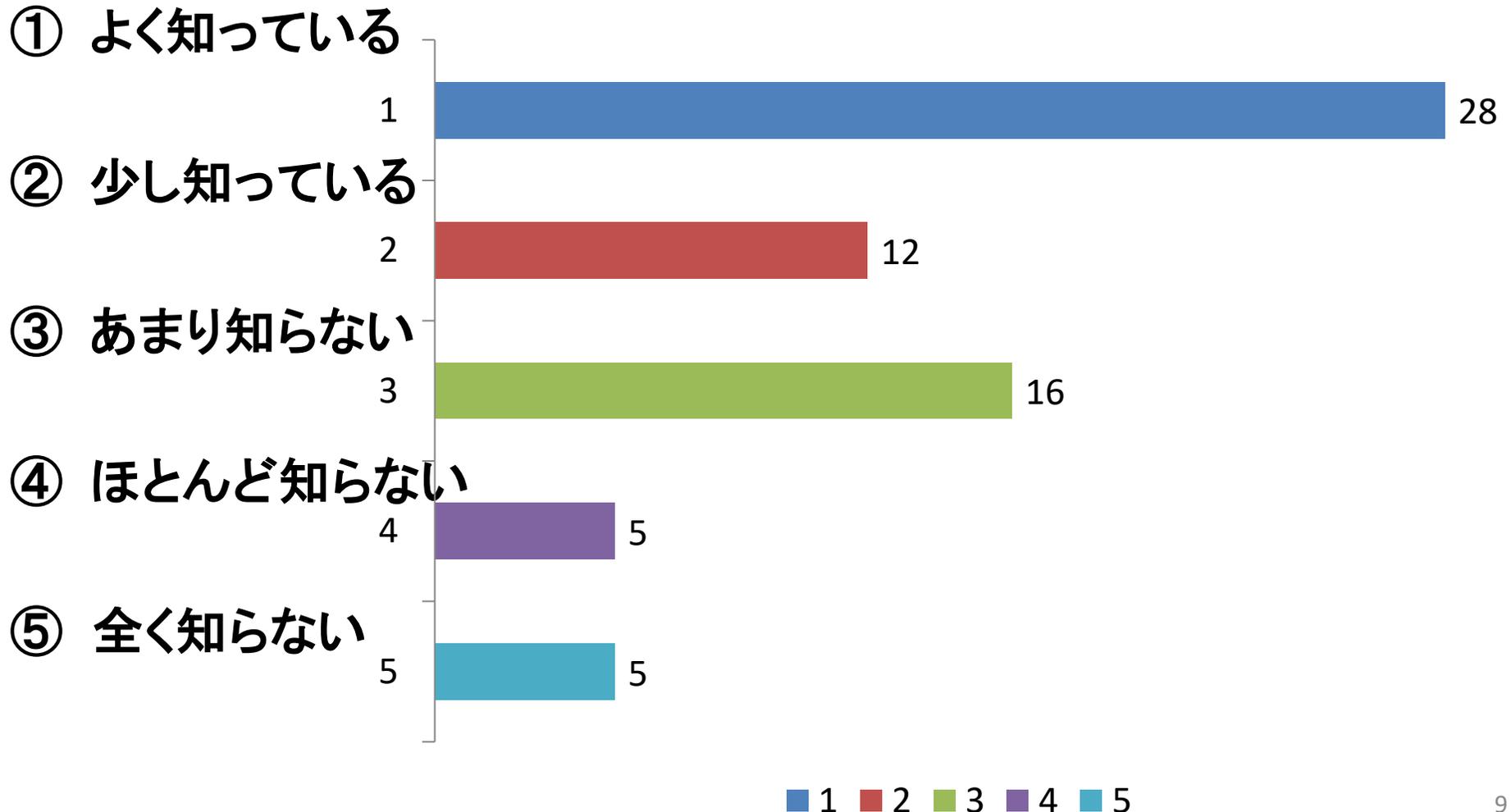
参加予定施設: 58施設

懇親会予定人数: 35名

Question1

看護師さんへ;肝疾患相談室(相談・支援センター)の相談員を

投票数: 66



平成29年度 肝疾患診療連携拠点病院 肝疾患相談・支援センター 関係者向け研修会

日時：平成30年3月2日（金）13：30～18：00 ・ 3月3日（土）9：30～15：00

場所：AP浜松町Aルーム

〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館地下1階

テーマ： 各拠点病院の活動内容の情報共有～医師参加による院内連携強化と
肝疾患患者へのコーディネート～

1. 各拠点病院の活動を報告（ポスター発表）して頂き、**医師**を含めた参加者で進行しながら、**地域ブロックを越えた情報共有**を目指す
2. 肝炎医療コーディネーター（Co）は、自治体の状況によって認定・育成方法等が異なり、その状況を共有し、肝疾患相談・支援センターが出来る「**コーディネート（調整）**」について考える

参加予定人数: 120名(115)

医師36名参加(2)

参加予定施設: 54施設(57)

懇親会予定人数: 52名(35)



拠点病院の活動状況を共有(ポスター・グループワーク)



2019年(H30)学会からメディカルスタッフセッションが開催

2021年4月17日(土) 新宿+web

■ 肝炎医療コーディネーターセッション

期待される肝炎医療コーディネーター・肝疾患関連メディカルスタッフの活躍と課題

進行：是永 匡紹（国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター肝炎情報センター）
江口 有一郎（医療法人ロコモメディカル・ロコモメディカル総合研究所）
田山 智美（埼玉医科大学病院看護部）

2021年6月18 -19日 札幌

2-1.「メディカルスタッフセッション 肝疾患の医療行政の課題」

司会：是永 匡紹（国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター肝炎情報センター）
櫻本 大（大阪市立大学肝胆膵病態内科学）
近藤 泰輝（仙台厚生病院肝臓内科）

2-2.「メディカルスタッフセッション これからは肝炎医療コーディネーターが肝疾患患者を救う時代」

司会：井出 達也（久留米大学医療センター消化器内科）
江口 有一郎（医療法人ロコモメディカルロコモメディカル総合研究所）
小川 浩司（北海道大学内科学講座消化器内科学教室）

平成30年度 肝疾患診療連携拠点病院 肝疾患相談・支援センター 関係者向け研修会(2019年3月1,2日)

平成30年度肝疾患相談支援センター向け研修会
A P 浜松町 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館地下1階

テーマ：拠点病院における相談業務と現状と課題～相談支援システム活用と偏見・差別について

3月1日(金)

1. 挨拶 13:30～13:40
肝炎情報センター長 考藤 達哉
厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室 ○○ ○○

2. 講義(各25分 質疑込み) 13:40～15:10
1) 「今後の肝炎総合対策」⇒肝がん助成
厚生労働省肝炎対策推進室 ○○ ○○

2) 「最新の肝炎ウイルス治療(仮)」⇒エブクルーサー ○○ ○○

3) 「回答に困る質問・差別偏見」 長崎医療センター 八橋 弘 先生
(休憩+啓発資料 閲覧)

4. 相談支援システムの現状について 15:30～15:50

5. 相談システム運用例 (他) 15:50～16:20

6 グループワークI(質問に困る例について・改善方法等) 16:20～17:00
⇒テーマはアンケートより

7 中間報告(各5分) 17:00～17:45

8 記念撮影 事務連絡 17:45～18:00

9. 意見交換会 18:00～20:00
AP 浜松町 NO ルーム(会場内)
医師 4000円 それ以外 2000円

3月2日(土)

1. 昨年度のアンケート結果・啓発資料の行方 9:30～10:30

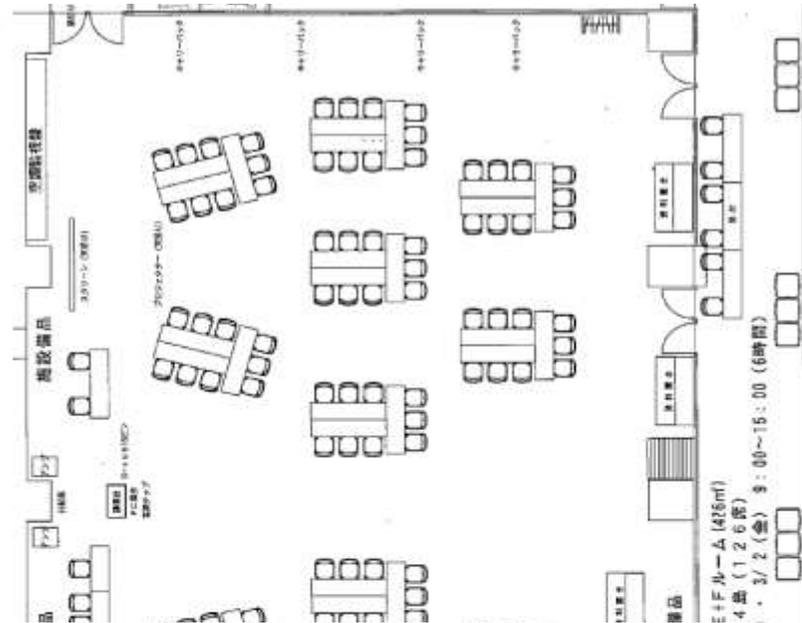
2. グループワークII(+肝炎室・情報センターへの質問作成) 10:30～11:30

昼食(各自)

3. グループ発表(10分以内)+討論 12:30～14:00

4. 修了証書授与 閉講式 14:00～15:00

⇒第1報:日時・場所・内容+医師参加要請(+相談システムへの要望・回答困難例)
12月末が締め切り予定



参加予定人数: 108名(120)

医師22名参加(34)

参加予定施設: 53施設(54)

懇親会予定人数: 46名(52)

昨年参加者: 47名(32)

感染知識をアンサーパット

問1d 咳をすると他人に移すか？

B型肝炎



問4 C型肝炎の患者さんの採血をした針を自分に刺した際の感染する確率は？



相談支援システム実用例

H30年度 肝疾患相談支援センター関係者向け研修会

相談支援システム

“私はこう使用している”

福井県済生会病院 橋本まさみ の場合...

相談支援システム 当相談室での活用の実例



徳島大学病院
肝疾患相談室
立木佐知子

相談事例・回答を作成

相談事例:

●32歳頃、B型慢性肝炎の急性増悪で入院歴あり。急性増悪時に核酸アナログを内服を開始しその後、ペグインターフェロンをもちいて内服を中止している。現在肝機能は正常上限を超えることが時にある程度で、DNA量は4LogIU/ml前後を推移している。診断書の病名をB型肝炎としていないので職場にはその後も知られていない。職業は、消防士で救急車にも乗ることもある。職場に病名を知らせるべきかどうか、仕事を継続してよいかの相談。

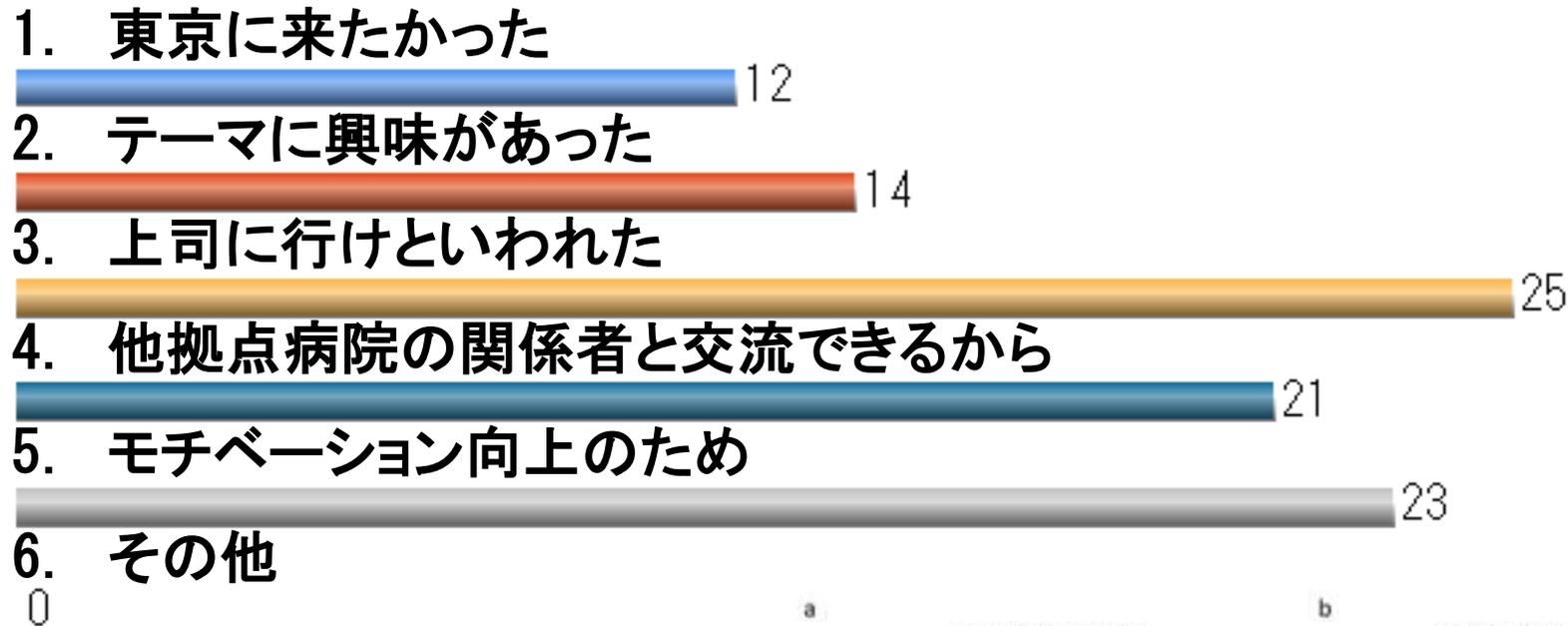
～回答事例～

自分から職場の方には話をしなくてよいが、自分の上司になる人に報告をした方がよいと思われる。理由は、本人の今後の治療で通院・入院が必要になることがでける可能性があるため。



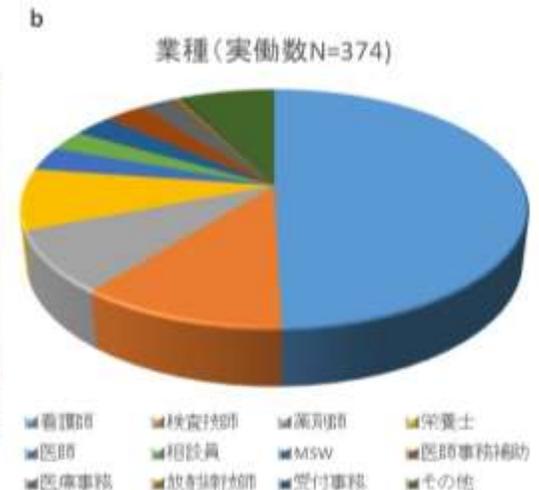
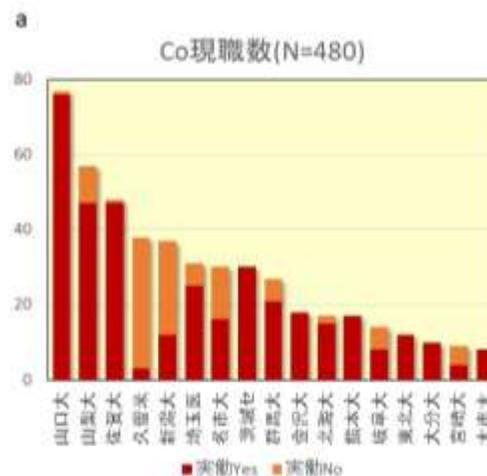
練習問題2 (複数回答)

本日の研修会に参加した理由は(複数回答可)



拠点病院のCoの現状⇒
 拠点病院間で差が有
 25%が退職・活動状況不明
 多職種と言いながら看護師50%

榎本他 肝臓2021



令和元年度 肝疾患診療連携拠点病院 肝疾患相談・支援センター 関係者向け研修会(2020年2月28,29日予定⇒延期・中止)

令和元年度肝疾患相談支援センター関係者向け研修会(案)

A P 浜松町 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館地下1階

テーマ：拠点病院における相談業務と現状と課題～相談支援システム活用と偏見・差別について

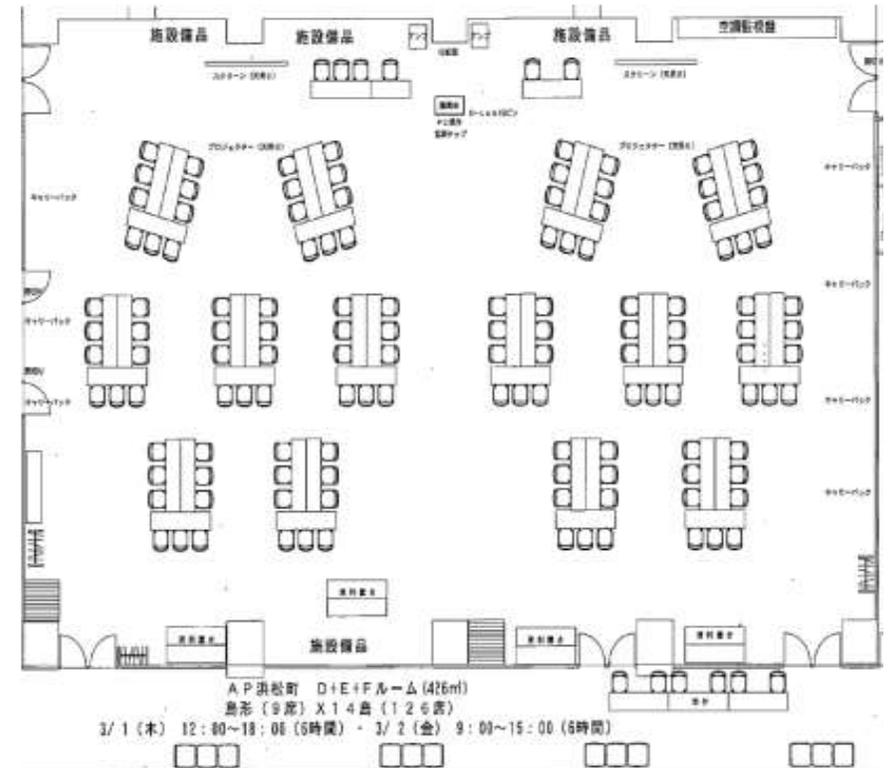
2月28日(金) 12時45分受付開始 13時20分までに集合

0. 本日の Agenda 説明 13:20～
1. 挨拶 13:30～13:40
肝炎情報センター長 考藤 達哉
厚生労働省健康局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室
2. 講義(各25分 質疑込み) 13:40～14:30
1) 肝炎総合対策について(仮) 厚生労働省肝炎対策推進室
2) ウイルス肝炎について(仮) 肝炎情報センター 考藤 達哉
- 3. 特別講演 行動変容を促す 医療コミュニケーションの方法 14:30～15:15**
大阪大学 平井 啓
(休憩+啓発資料閲覧 15分)
4. 相談支援システムの現状・これからのグループワーク 15:30～15:40
肝炎情報センター 是永 匡紹

ステップアップ研修会では何を？講師は？
多職種？職種別→理想の研修会Agendaを
⇒Coの均てん化

8. 明日に向けて(自己紹介等) 17:50～
最長)19:00

- 2月29日(土) 9時10分開場 9時25分までに集合
1. 昨年度のアナケート結果 9:30～9:40
2. 啓発資料の行方 9:40～10:00
大阪医科大学・虎ノ門病院
3. グループワークII 10:00～
昼食(各自)
4. 発表(グループ毎 10分以内) 12:10～14:40
5. 修了証書授与 閉講式 14:40～15:00



他地域のコーディネーター養成の実態(佐賀・福井)

平成30年度 肝炎医療コーディネーター養成研修会(集合研修)プログラム

日時:平成30年度11月18日(日) 会場:佐賀大学経済学部第5講義室

時間	テーマ	講師	
9:00~9:10 (10分)	開会の挨拶	肝炎佐賀の会 佐賀県医療統括監	太田 代表 野田 広
9:10~9:50 (40分)	佐賀県の肝炎の現状	佐賀大学医学部附属病院	磯田広史
9:50~10:30 (40分)	公的助成制度の活用について	佐賀県健康増進課	久石利香
10:30~10:40 (10分)	休憩		
10:40~11:20 (40分)	肝炎医療コーディネーターの役割	佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター	矢田ともみ
11:20~12:20 (60分)	肝炎患者の声(仮)	東京肝臓友の会	米澤 敦子
12:20~13:20 (60分)	昼食		
13:20~13:50 (30分)	ウイルス性肝炎	佐賀大学医学部	岩根紳治
13:50~14:20 (30分)	肝硬変・肝がん	佐賀大学医学部	岩根紳治
14:20~14:40 (20分)	NASH・その他	佐賀大学医学部附属病院	岡田倫明
14:40~14:50 (10分)	休憩		
14:50~15:20 (30分)	試験(準備10分、試験時間20分)		
15:20~16:10 (50分)	動機づけ面接	産業医学協会	後藤 英之
16:10~16:40 (30分)	両立支援・総合ディスカッション	肝疾患センター長	江口 有一郎
16:40~16:50 (10分)	終了証授与式		
16:50~17:00 (10分)	閉会の挨拶	肝疾患センター長	江口 有一郎

福井県 肝炎医療コーディネーター養成研修会

 日時 9月15日(日) 10:00~16:00
場所:福井県自治会館(福井市西開発)

 対象者 すべての医療従事者(全職種、診療科)

 内容 【午前の部】
専門職種の講師より、肝疾患の基礎知識や肝炎対策に関する講義
担当講師:医師、薬剤師、検査技師、福井県保健予防課ほか

Coからの活動報告

患者

【午後の部】
症例から学ぶ肝炎医療コーディネーターの“使命”
～肝炎医療コーディネーターが救えたはずの命～
福井県済生会病院 肝炎医療コーディネーター橋本まさみ

肝炎医療コーディネーターとは
福井県済生会病院肝炎医療コーディネーター橋本まさみ

コーディネート事例紹介 **Coからの活動報告**

看護師(病棟・クリニック)・薬局薬剤師・検査技師より

パネルディスカッション(事例発表者による)

 問合せ先 福井県済生会病院 肝疾患センター
担当:佐竹
TEL.0776-28-1197 FAX.0776-28-8538
メールアドレス kimoko@fukui.saiseikai.or.jp

動機づけ面接?

 共催 福井県、福井県済生会病院(肝疾患診療連携拠点病院)、アッヴィ合同会社、株式会社スズケン

HP・Facebookで紹介しますのでAgenda送って頂けますか？

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
NCGM 肝炎情報センター

文字サイズ 小 **中** 大 サイト内検索

国の肝炎総合対策 肝炎情報センターとは ユーザー別で探す カテゴリー別で探す 資料庫

- トップページ > ユーザー別で探す > 拠点病院関係者の方へ > 支援...
 - トップページ > カテゴリー別で探す > 都道府県・市町村の取り組み
- ユーザー別で探す**
- 一般・患者の方へ
 - 保育関係者の方へ
 - 高齢者施設の方へ
 - 働く方へ
 - 産業保健関係者の方へ
 - 医療関係者の方へ
 - 拠点病院関係者の方へ
- カテゴリー別で探す**
- センターの取り組み
 - 全国の拠点病院の紹介と取り組み
 - 都道府県・市町村の取り組み
 - 病気について

- 地域肝炎医療治**
- 各都道府県では、肝炎検査、治療方法、服薬人材の育成を行っている。
- 各地域の事例**
- 愛媛大学医学部
 - 佐賀大学医学部
 - 熊本大学医学部
 - 石川県・金沢大
 - 福井県済生会病
 - 山梨大学医学部
 - 熊本大学医学部
 - 広島県：肝疾患
 - 福井県済生会病
 - 神奈川県・公益
 - 山梨大学医学部

国立国際医療研究センター 肝炎情報センター

いいね! フォローする シェア ...

写真

福井県 肝炎医療コーディネーター養成研修会

肝がんの原因...約8割は「ウイルス肝炎」
 大事な人が肝がんになき前に
 あなたにもできること学ばませんか？

日時 9月15日(日) 10:00~16:00
定食費はこちらでご用意致します

場所 福井県自治会館 (福井市西開発)

対象者 すべての医療従事者 (すべての職種・診療科)

受講料 無料

内容

- 午前の部
 - 専門講師の講演より、肝疾患の基礎知識や対処法に関する講演 (肝臓病、肝炎、脂肪肝、検査方法、最新治療の現状 ほか)
- 午後の部
 - 症例から学ぶ「肝臓医療」で「肝がん」の「検出」 (福井県済生会病院 消化器科/内科/外科、福井県済生会病院 消化器科/内科/外科/放射線科)
 - 肝臓医療コーディネーターの役割と今後の展望
 - 肝臓医療コーディネーターとは (福井県済生会病院 消化器科/内科/外科)
 - コーディネーター事例紹介 (福井県済生会病院、福井県済生会病院)
 - パネルディスカッション (福井県済生会による)

研修終了後には福井県済生会病院にて、研修生が研修の成果を発表およびライブパフォーマンスを行います。

お申し込みお問合せ 福井県済生会病院 肝炎センター 福井 徳村
 TEL: 0776-28-1167 FAX: 0776-28-8538
 E-mail: kimoko@fuhui.nais.or.jp
 URL: https://www.fuhui.nais.or.jp/itv/

福井県済生会病院 肝炎センター 福井 徳村

まだ評価はありません

コミュニティ

- 友達にページへの「いいね!」をリクエスト
- 260人が「いいね!」しました
- 297人がフォローしています
- 小玉 尚宏さんと他友達5人が「いいね!」しました

基本データ

- 272-8516 千葉県市川市 千葉県市川市国府台1-7-1
- メッセージを送信
- www.kanen.ncgm.go.jp/index.html
- 医療関連会社
- 編集を提案

ページの透明性

Facebookではページの目的を理解するうえで役立つ情報をお知らせしています。コンテンツの整理や投稿を行っています。

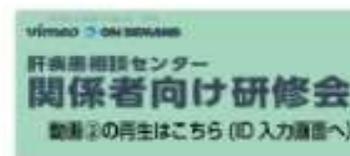
④これからの動画で学んで欲しいこと 行動変容・相談支援システム・コロナ禍の活動

4. 特別講演

行動変容を促す医療コミュニケーションの方法 (40分)

大阪大学人間科学研究科 准教授 平井 啓

(3~4 動画2)



5. コロナ禍の活動報告1 (指定) 約10分 (各5分)

a. 肝疾患相談支援システム活動報告

富山県立中央病院 肝疾患相談室 看護師 古川市子

b. コロナ禍で行われた研修会と市民公開講座の取り組み

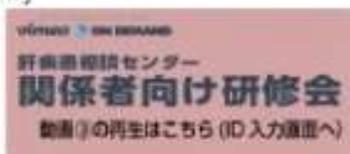
大分大学医学部附属病院肝疾患相談センター 看護師 藤田幸子

6. コロナ禍の活動報告2 (公募) 約30分 (各施設約3~4分)

a. リレー動画① (情報C⇒福井済生会⇒和歌山医科大学⇒香川県中央⇒岡山大学⇒情報C)

b. リレー動画② (情報C⇒徳島大学⇒山口大学⇒久留米大学⇒佐賀大学⇒情報C)

(5~6 動画3)



令和元年度 肝疾患診療連携拠点病院 肝疾患相談・支援センター 関係者向け研修会(2020年2月28,29日予定⇒延期・中止)

令和元年度肝疾患相談支援センター関係者向け研修会(案)

A P 浜松町 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館地下1階

テーマ：拠点病院における相談業務と現状と課題～相談支援システム活用と偏見・差

3. 特別講演 行動変容を促す 医療コミュニケーションの方法 14:30～15:15
大阪大学 平井 啓

(休憩+啓発資料閲覧 15分)

2. ワークスル肝炎について(仮)

肝炎情報センター 考藤 達哉

3. 特別講演 行動変容を促す 医療コミュニケーションの方法 14:30～15:15
大阪大学 平井 啓

(休憩+啓発資料閲覧 15分)

4. 相談支援システムの現状・これからのグループワーク 15:30～15:40
肝炎情報センター 是永 匡紹

5. グループワークI(研修会プログラム・行動変容事案) 15:40～16:40

6. 中間報告(口頭：各5分以内) 16:40～
17:30

7. 記念撮影 事務連絡 17:30～17:50

8. 明日に向けて(自己紹介等) 17:50～
最長)19:00

学んで欲しい事①：行動変容とは？ナッジとは？

患者さん医師のすれ違いの原因
患者さんの行動を変化させるのは？

患者と医療者はなぜすれ違うのか？

- わかってもらえない
- 医療者の言っていることが理解できない
- 医療者に言いたいことが上手に言えない、伝わらない

現在バイアス (先延ばし) %もありますよ！

合理性を前提とした説明

現状維持バイアス

利用可能性バイアス

医師「糖尿病のコントロールが非常に悪い」
本人「つつい、食べちゃうんだよね。」
奥様「だから、あなた言ったじゃない！全くいう事聞かないんか」
息子「どうすればいいですか？」
医師「インスリンを導入した方がよいと思います。」
本人「注射はいやだ！！俺は自力でなんとか治す！食事療法の本を新聞で見たから、それを買ってくる」
奥様「そんなこと言ったってお前が悪いじゃない！」
息子「もう少し努力するっ」
医師「・・・」
心の声（本当にわかっているのだろうか？もしくはわかっている合理的ではないのだろうか？そうであればどうすれば合理的な意思決定ができるのだろうか、・・・）

受診率向上施策ハンドブック

明日から使える

ナッジ理論

- “選ばなくていい”は、最強の選択肢
- 簡単にする、簡単にみせる



シールにおしっこをかけると

言い方ひとつで患者さんの行動を変えられるかも？

どちらの手術を選ぶ？

助かる確率
90%

亡くなる確率
10%



同じ内容であっても、表現の仕方で受け取り方が異なる。

フレーミング framing

どちらがよく売れる？

6種類のジャム
が試食可

24種類のジャム
が試食可

ジャムの実験



ディナーはどれにする？

A 2000円
B 4000円

A 2000円
B 4000円
C 6000円



極端を避け、真ん中を選ぶ。

松竹梅効果・極端の回避



リチャード・セイラー
ノーベル経済学賞

問2a 食事を通じて感染する可能性？

B型肝炎

00:00

1. ある

5

2. ない

30

3. わからない

2

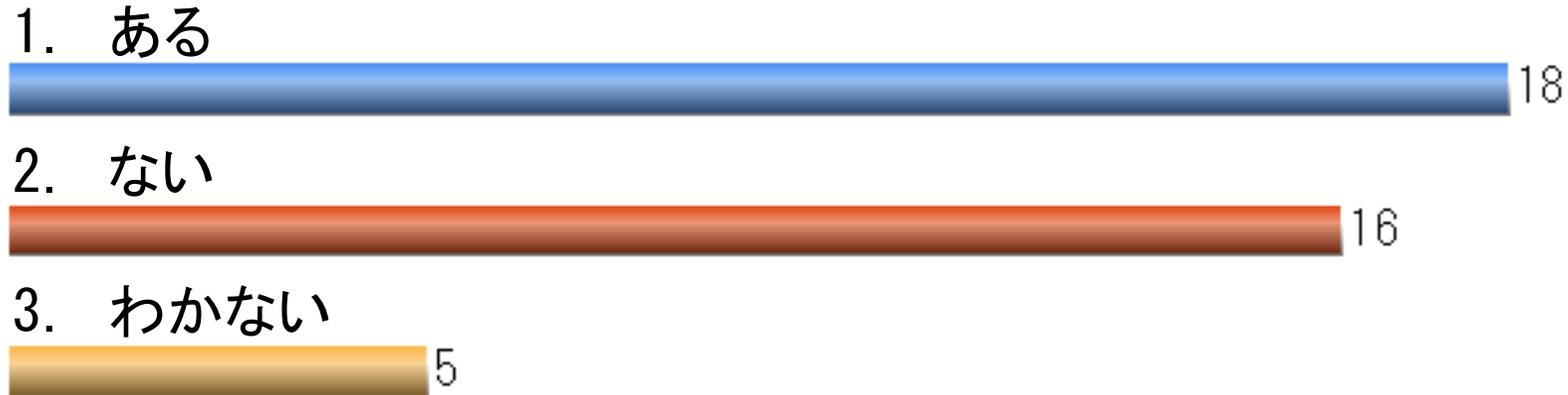
キーパッド数:100

投票数:37

問2a 食事を通じて感染する可能性？

B型肝炎

00:00



B型肝炎ウイルスが食事では感染しません

キーパッド数:100

投票数:39